

## 子育て支援の体験学習

1月22日(水)、広幡小学校の6年生11人が、町内の子育て支援団体「子育て支援いちご」の未就園児向けの活動を体験しました。

これは、町で行われている子育て支援に興味・関心をもつことを目的として行われ、参加した児童は鬼のお面を一緒に作ったり、踊りを踊ったりしながら子どもたちと触れ合いました。

この活動を担当した広幡小学校の杉野先生は「養老町で子育て支援をされている人の活動が、安心して子育てができるまちづくりにつながっていることを学んでほしい。」と期待を口にしていました。



鬼のお面作りをサポートする児童

## 土地改良区の合理化を図る



合併予備契約書に調印した両土地改良区の代表者たち

1月24日(金)、五三土地改良区および養老町大場新田土地改良区の合併に向けた協議が整い、合併予備契約調印式が行われました。

現在、町では、町内に存在する22の土地改良区において、後継者の不足や維持管理費の増加などさまざまな問題を抱えているため、統合再編による合理化を進めています。

この度の合併は、その統合再編の一環で、今後、両土地改良区における総代会および総会での議決を経て、合併認可を受け、「五三土地改良区」として8月1日の新組織発足を目指します。

## 至福のひととき 新春茶会

2月9日(日)、町中央公民館で町茶華道協会主催の新春茶会が行われ、町内外から約300人が参加しました。

この茶会は、地域文化の発展のため毎年行われており、「表千家薄茶席」、「裏千家立礼席」、「点心席」の3つの茶席が開かれ、参加した人々は、振る舞われたお茶を楽しみました。

同協会副会長の伊藤勇男さんは「今年は例年よりも多くの人に来ていただいた。これからも会を継続していき、より発展させていきたい。」と抱負を述べていました。



「表千家薄茶席」でお茶を味わう参加者たち